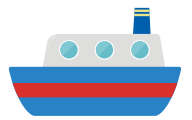
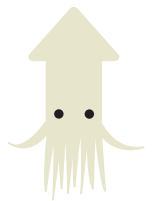
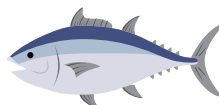


OTTA BANK

MiniDisclosure



ん?・・・
イルカ以外に何かいる!.....か



第212期 営業の中間ご報告
(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

感動を、シェアしたい。
大分銀行

感動を、シェアしたい。

ごあいさつ

皆さま方には、平素より大分銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

明治26年の創立以来、当地にて地域の金融機関として営業を継続し、確固たる基盤を築くことができましたのも、ひとえに皆さま方の温かいご支援とご協力のたまものと深く感謝申し上げます。

当期の県内経済は、大型公共工事の発注や、設備投資の大手製造業の牽引等により緩やかな持ち直しの動きとなりました。一方、生産活動には一部に弱さがみられ、観光は昨年4月に発生した熊本地震による落ち込みの反動等から当初は持ち直しの動きとなりましたが、7月に九州北部豪雨、9月に台風第18号による水害と大規模な災害が相次ぎ、一部でその影響がみられています。当行は地域・お客さまの復興に向けた取り組みを全力で支援し、地域とともにある金融機関として責務を全うしてまいります。

また、私ども金融機関を取り巻く環境は、フィンテックの影響により新たな金融サービスが次々と誕生し大きく変わりつつあります。さらに、お客さま本位の業務運営（フィデューシャリーデューティー）の徹底や、お客さまのニーズに合わせた多機能サービスの提供など、金融機関に求められる役割はより大きなものとなっております。

今後も厳しさを増す経営環境にありますが、健全な経営に努めるとともに地方銀行としての責任を果たすべく、銀行業務を通じた地域への貢献に積極的に取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、当行の取り組みに対しまして、今後もお一層のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成29年12月

取締役頭取 後藤 富一郎



当行プロフィール（平成29年9月30日現在）

本店	大分市府内町3丁目4番1号	従業員数	1,694名
創立	明治26年2月1日		※出向者および嘱託、臨時雇員を含んでおりません。
資本金	195億9,843万2,500円	主要勘定	預金等残高 2兆9,068億円
店舗数	95カ店（本支店・出張所）左記のほか 代理店4カ店、香港駐在員事務所、東京事務所		貸出金残高 1兆7,459億円
CD・ATM 設置台数	429台 （うち店舗外158台）		有価証券残高 1兆1,108億円

「中期経営計画2016」

「中期経営計画2016」の体系図

平成28年4月1日～平成31年3月31日（3年間）

【基本テーマ】
（スローガン）

Best Quality

「Quality」は、全役職員一人ひとりの仕事・マインドの「質」や「地域密着化戦略」の実践を通じて向上させる付加価値の「質」だけではなく、当行の企業価値やブランド力、地方創生への取組み等の「質」も含んでいます。「中期経営計画2016」では当行の「質」を最高レベルに引き上げていきます。

【ビジョン】
（目指す姿）

地域への熱い「オモイ」を「カタチ」にするため行動し、 お客さまとの共有価値を創造し続ける銀行

ビジョンは、『全役職員が「地域密着化戦略」に熱中して取組み、長期的な取組みを実践する中でしっかりと結果を出し、お客さまとの共有価値を創造し続けることにより、地域全体、お客さま、そして当行自身のサステナビリティ（持続可能性）を最大化する』当行の姿を表しています。

【基本方針】
（施策の共通理念）

CSVの実現

※ CSV = Creating Shared Value（共有価値の創造）

当行と地域とは一体の関係にあり、地域の発展なくして当行の発展はありません。当行だけの収益力の強化を志向するのではなく、地域社会が抱える数多くの課題の解決に主体的に取り組むことによって、地域との共有価値を創造し、地域と一体となった成長、発展を目指していきます。

重要課題1

高付加価値の
実現に向けた
営業の実践

重要課題2

成長力と持続可能性を
最大化する
基盤の強化

重要課題3

情熱を持って行動する
人財の育成と
組織力の向上

【大前提】コンプライアンス

津久見



週末地球体験観光



未来に残したい漁業漁村の
歴史文化財産百選

保戸島

何だか似てる!? 世界の街



マナローラ(イタリア)

リグリア海に面した急斜面にある村で
カラフルな家々が特徴



ハルシュタット(オーストリア)

ハルシュタット湖の湖畔にたたずむ
小さくて美しい町



伊根(日本)

京都・伊根の舟屋。海辺ぎざぎざに
独特な建物が歴史的景観を織り成す

津久見市は大分県南部に位置し、日豊海岸国定公園に指定されたリアス式海岸、山々の斜面にはオレンジ色のみかん畑が美しいコントラストをなす自然ゆたかなところ。豊富な品種と高い品質を誇る『津久見みかん』や、甘辛いごまだれにまぐろを和えた『ひゅうが丼』は、過酷な漁の合間に漁師が船上で食べたとされるご当地人気グルメです。『保戸島』は狭い平地と急傾斜地にコンクリート作りの住宅がひしめき合う独特の景観で、水産庁の「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」にも選ばれています。また、津久見市を代表する郷土芸能として、約450年の歴史を誇る『津久見扇子踊り』があります。今回は食・景観・歴史文化の宝庫である「津久見」についてご紹介いたします。

津久見市で“地球体験”観光 『新しい思い出、作ってみない?』

次の週末は
家族みんなで
出かけよう!



津久見市公認キャラクター
つくみん

親子で遊んで学ぼう “地球体験”観光

石灰石・セメント産業等の産業資源、地質・地形資源、イルカ等の生物資源、農漁業や郷土文化・芸能といった生活・文化資源が密集している津久見市の特徴を活かし、「地球体験」をコンセプトとした観光を推進しています!

“津久見の自慢”
「石灰石・セメント産業」
体験!



“目指せ海の子!”
海遊び体験!



“イルカ博士になる!”
イルカ体験学習!



“世界最古”の宇宙塵と
“夢が詰まった”ジオ体験!

仕掛けがいっぱい! 『つくみん公園』

津久見インターから車で10分ほど津久見市街地方面へ進んで行くと、左手に突然現れるカラフルで大きなクジラとイルカ。そこは、こどもだけでなく大人も楽しめる場所、その名も『つくみん公園』!! 大型遊具に広い芝生広場。近くに港もあり、1日中ゆっくりくつろげる、人気スポットです。津久見市のゆるキャラ“つくみん”が公園のどこかに14個隠れています。ぜんぶ探すことができるかな?



まぐろ漁業の島 “保戸島”

島には平地が少なく、海岸から山への傾斜面に3、4階建て

名前の由来

景行天皇が美しい海藻に感動し、「最勝海藻の門(ほつめのと)」と名付けた名前の最初と最後をとって“保戸島”になったといわれています。

の住宅がひしめきあい、地中海を連想させる独特の景観をつくっています。その保戸島の漁村・漁民の歴史、文化、景観が「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」に選ばれました。

未来に残したい
漁業漁村の
歴史文化財産百選



イルカと遊びつくそう 『うみたま体験パーク つくみイルカ島』

『うみたま体験パークつくみイルカ島』は、イルカと人間の「ふれあい・癒し」をテーマにした体験型施設。うみたまごと津久見市のコラボレーションにより誕生し、自然の海に多くのイルカたちが暮らしています。2017年5月14日にバンドウイルカのオスの赤ちゃんが誕生しました。名前は「つばさ」です。



みかん狩りへ Let's Go!

太陽の光をいっぱいに浴びながら、津久見の自然により丹精こめて育てられたフレッシュな津久見みかんは、その味・甘さともに保証つきです。津久見市内には、みかん狩りができるみかん鑑賞園がいくつかあり、秋ごろからみかん狩りが楽しめます。



宗麟公園

大友宗麟(1530年~1587年)は、戦国時代、中九州六カ国を支配した武将として、また、キリシタン大名として有名です。ここ津久見市は、その大友宗麟終焉の地です。宗麟公園には大友宗麟公のお墓があり、樹齢百年を超える杉林が作る厳粛な雰囲気の中に建っています。春の桜、秋の紅葉など四季を楽しめる公園でもあります。



春の訪れを感じる 四浦半島の河津桜

四浦地区には、現在河津桜が約4,600本あり、大分県内では最大の河津桜の名所となっています。天気の良い日は、海の青い色に、沿道に咲いた河津桜のピンクが良く映えて、よりいっそう美しさを増します。

一足早い春の訪れを四浦で感じてみませんか？

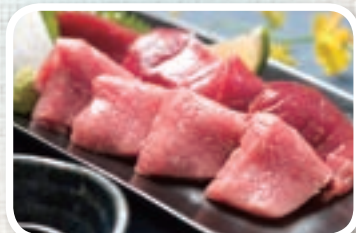
見ごろ 2月中旬～下旬頃

ビタミンC豊富 津久見みかん

みかん狩りを
楽しめるよ！



津久見産本まぐろ ヨコヅナ



太平洋からの黒潮と瀬戸内海からの豊かな海水が流れ込む大分県の豊後水道。津久見の豊かな海で育ったクロマグロは“魚の横綱”と呼ばれることから「ヨコヅナ」と名付けました。

イカの王様を堪能！ 津久見モイカフェスタ

津久見モイカフェスタは、津久見のモイカを漁師が丁寧に獲り、漁協がモイカ専用イケースで管理し、料理人が鮮度抜群のモイカを調理して、皆様にお届けします♪



まぐろで満腹！ ひゅうが丼！

津久見ひゅうが丼キャンペーン
(7月～9月)

おおいたグルメグランプリ
2年連続★金賞受賞☆



まぐろの赤身を醤油・砂糖などを入れた特製のごまだれと和え、アツアツのご飯の上にのせた丼。

優雅に踊る舞姿 津久見扇子踊り



津久見扇子踊り大会は毎年8月の下旬に開催され、市から認定された「扇子踊り娘」をはじめ、津久見市内の大人から子ども会まで約800人が扇子の舞を披露します。

つくみ港まつり 納涼花火大会

昭和24年に津久見港が貿易開港場指定を記念して開催され、毎年2日間の日程にて行われます。たくさんのイベントが催され、2日目の夜、この祭りのメインでもある花火大会が始まり、津久見の夜空を鮮やかに彩ります。



業績ハイライト（中間決算のご報告と業績予想）

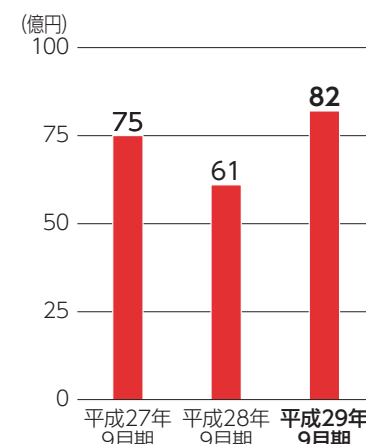
平成29年9月期の経常収益は、貸倒引当金戻入益、有価証券利息配当金が増加したことにより増加しました。また、経常費用は、外貨関連費用や国債等債券売却損の増加等により増加しました。この結果、経常利益は前年同期比21億円増加し、82億円となりました。中間純利益は、経常利益の増加により前年同期比12億円増加し、62億円となりました。

平成29年度の業績につきましては、経常収益503億円、経常利益115億円、当期純利益82億円を予想しております。なお、業績予想の前提として、日経平均株価を18,000～22,000円、与信費用を△33億円と見込んでおります。

主要な指標の推移

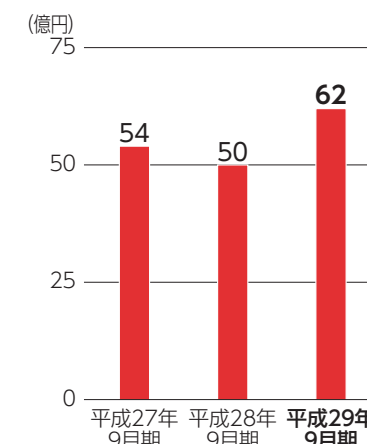
■経常利益

82 億円
(前年同期比 +21億円)



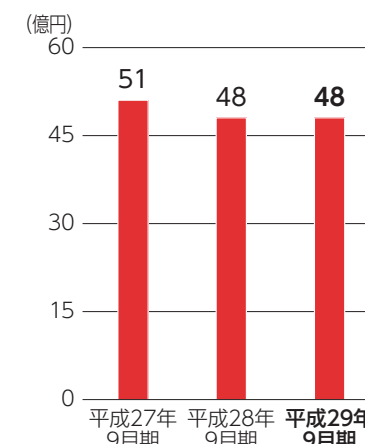
■中間純利益

62 億円
(前年同期比 +12億円)



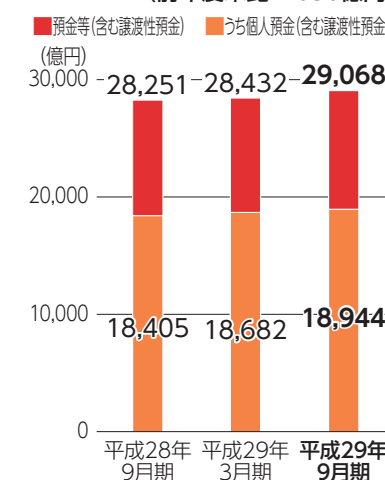
■コア業務純益

48 億円
(前年同期比 △0億円)



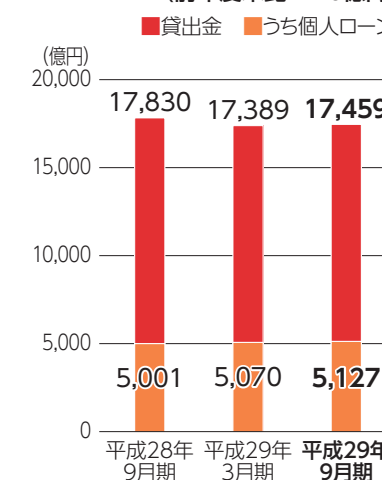
■預金等

2兆 9,068 億円
(前年度末比 +636億円)



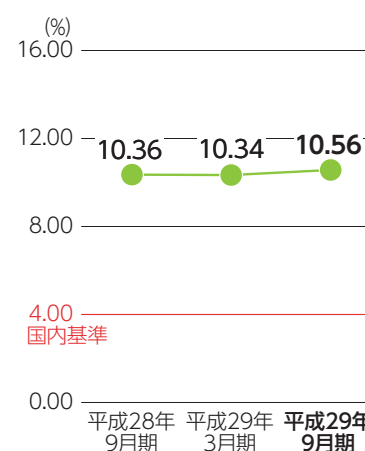
■貸出金

1兆 7,459 億円
(前年度末比 +70億円)

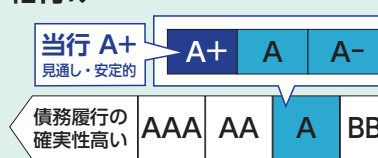


■自己資本比率

10.56 %
(前年度末比 +0.22%)



格付け



当行は、平成12年9月29日付で日本格付研究所(JCR)の長期優先債務格付「A+（債務履行の確実性は高い）」を取得し、その後も格付「A+」を継続取得しています。

※長期優先債務格付
長期優先債務格付とは、具体的な債券を特定せず、その銀行が現在背負っている無担保の債務または将来背負うであろう不特定の無担保債務を包括的に捉えて、債務履行能力を格付したものです。

中間(連結)財務諸表

中間連結貸借対照表 (単位：百万円)
(平成29年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
現金預け金	263,076	預金	2,669,054
コールローン及び買入手形	5,072	譲渡性預金	226,673
買入金銭債権	6,167	コールマネー及び売渡手形	11,273
商品有価証券	28	売現先勘定	32,203
金銭の信託	15,174	債券貸借取引受入担保金	16,884
有価証券	1,106,765	借入金	8,491
貸出金	1,739,453	外国為替	699
外国為替	5,898	新株予約権付社債	11,273
リース債権及びリース投資資産	16,483	その他負債	32,948
その他資産	50,725	賞与引当金	1,010
有形固定資産	33,517	退職給付に係る負債	7,606
無形固定資産	2,232	役員退職慰労引当金	25
退職給付に係る資産	9,751	睡眠預金払戻損失引当金	1,306
繰延税金資産	1,029	繰延税金負債	4,506
支払承諾見返	10,410	再評価に係る繰延税金負債	4,701
貸倒引当金	△25,722	支払承諾	10,410
資産の部合計	3,240,066	負債の部合計	3,039,069
		純資産の部	
		資本金	19,598
		資本剰余金	13,788
		利益剰余金	133,187
		自己株式	△2,312
		株主資本合計	164,262
		その他有価証券評価差額金	30,083
		繰延ヘッジ損益	△813
		土地再評価差額金	9,035
		退職給付に係る調整累計額	△1,806
		その他の包括利益累計額合計	36,498
		新株予約権	182
		非支配株主持分	54
		純資産の部合計	200,997
		負債及び純資産の部合計	3,240,066

中間貸借対照表 (単位：百万円)
(平成29年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
現金預け金	262,137	預金	2,674,074
コールローン	5,072	譲渡性預金	232,773
買入金銭債権	6,167	コールマネー	11,273
商品有価証券	28	売現先勘定	32,203
金銭の信託	15,174	債券貸借取引受入担保金	16,884
有価証券	1,110,868	借入金	1,598
貸出金	1,745,947	外国為替	699
外国為替	5,898	新株予約権付社債	11,273
その他資産	42,325	その他負債	25,474
その他の資産	42,325	未払法人税等	1,190
有形固定資産	31,765	リース債務	194
無形固定資産	2,105	資産除去債務	254
前払年金費用	10,922	その他の負債	23,835
支払承諾見返	10,391	賞与引当金	909
貸倒引当金	△23,338	退職給付引当金	5,956
資産の部合計	3,225,468	睡眠預金払戻損失引当金	1,306
		繰延税金負債	5,297
		再評価に係る繰延税金負債	4,701
		支払承諾	10,391
		負債の部合計	3,034,817
		純資産の部	
		資本金	19,598
		資本剰余金	10,602
		資本準備金	10,582
		その他資本剰余金	19
		利益剰余金	124,343
		利益準備金	10,431
		その他利益剰余金	113,912
		固定資産圧縮積立金	112
		別途積立金	105,830
		繰越利益剰余金	7,970
		自己株式	△2,312
		株主資本合計	152,231
		その他有価証券評価差額金	30,015
		繰延ヘッジ損益	△813
		土地再評価差額金	9,035
		評価・換算差額等合計	38,237
		新株予約権	182
		純資産の部合計	190,651
		負債及び純資産の部合計	3,225,468

中間連結損益計算書 (単位：百万円)
(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

科 目	金 額
経常収益	31,884
資金運用収益	18,339
(うち貸出金利息)	11,581
(うち有価証券利息配当金)	6,667
役務取引等収益	4,339
その他業務収益	5,091
その他経常収益	4,113
経常費用	23,177
資金調達費用	789
(うち預金利息)	235
役務取引等費用	824
その他業務費用	5,762
営業経費	15,711
その他経常費用	89
経常利益	8,707
特別利益	0
固定資産処分益	0
特別損失	15
固定資産処分損	15
税金等調整前中間純利益	8,692
法人税、住民税及び事業税	1,755
法人税等調整額	395
法人税等合計	2,151
中間純利益	6,540
非支配株主に帰属する中間純利益	0
親会社株主に帰属する中間純利益	6,540

中間損益計算書 (単位：百万円)
(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

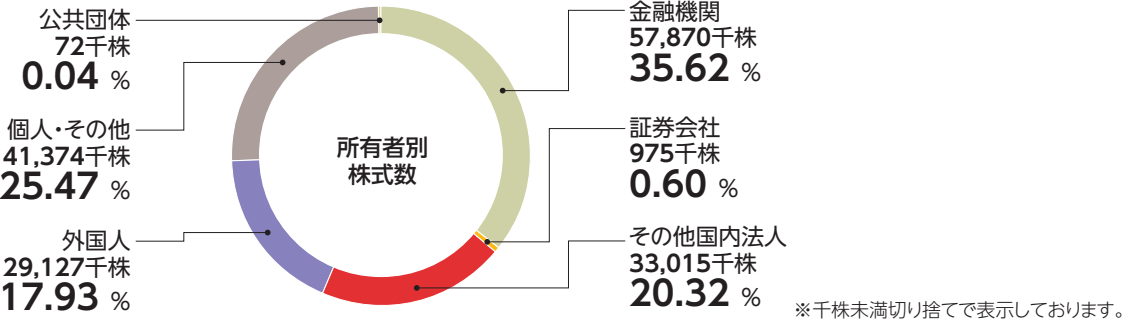
科 目	金 額
経常収益	26,837
資金運用収益	18,121
(うち貸出金利息)	11,361
(うち有価証券利息配当金)	6,670
役務取引等収益	3,976
その他業務収益	427
その他経常収益	4,312
経常費用	18,633
資金調達費用	776
(うち預金利息)	235
役務取引等費用	1,082
その他業務費用	1,654
営業経費	15,039
その他経常費用	81
経常利益	8,203
特別損失	14
税引前中間純利益	8,189
法人税、住民税及び事業税	1,571
法人税等調整額	402
法人税等合計	1,974
中間純利益	6,214

株主の皆さまへ

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

発行済株式総数 162,436千株
株主数 7,018名

株式分布状況



株式についてのご案内

- **事業年度**
毎年4月1日から翌年3月31日までといたします。
- **定時株主総会**
毎決算日の翌日から3ヵ月以内に開催いたします。

● **剰余金の配当および中間配当**
剰余金の配当は毎年3月31日現在の株主名簿に記録された株主または登録株式質権者に対し、定時株主総会終了後お支払いいたします。中間配当を行う場合は、取締役会の決議によって、毎年9月30日現在の株主名簿に記録された株主または登録株式質権者に対し、お支払いいたします。なお、お取引の金融機関預金口座振込をご指定くださいますとお受取りが速くて便利です。

- **定時株主総会の基準日**
毎年3月31日といたします。
その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。

● **公告方法**
電子公告により行います。
当行ホームページアドレス
https://www.oitabank.co.jp/kabunushi/koukoku/koukoku_d/
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、大分合同新聞および日本経済新聞に掲載いたします。

平成29年7月九州北部豪雨・平成29年台風第18号に対する当行の取組み

地域密着化戦略の実践に取組む当行としましては、このたびの平成29年7月九州北部豪雨・平成29年台風第18号により影響を受けられましたお客さまに対し、丁寧かつ迅速に対応することはもちろん、全力で支援してまいります。

■「特別相談窓口」の設置

震災により被災されましたお客さまからのご相談に迅速に対応するため、全営業店・ビジネスサポートセンター(宗麟館3階)に「ご相談窓口」を設置しております。最寄りの営業店の「ご相談窓口」、またはダイレクトセンター(0120-849-070)までご連絡ください。

	店頭でのご相談	電話によるご相談
設置場所	お取引店もしくは最寄りの営業店 ビジネスサポートセンター(宗麟館3階)	ダイレクトセンター (0120-849-070)
受付時間	平日 9:00～17:00	平日 9:00～17:00 土日 10:00～17:00

<ご相談内容>

- ・事業資金にかかわる資金調達・返済条件変更等について
- ・個人ローンにかかわる新規貸出・返済条件変更等について
- ・預金等その他のお取引に関するご相談

■ 事業者さま向け商品の取扱開始について

震災により直接的または間接的に影響を受けられた事業者の皆さまを支援するため、「災害復興応援ファンド」および「地域産業振興資金(県制度資金)」の取扱いを開始しています。

■ 家屋の改修や車輛等消費財の購入などに関する費用について

被災された個人のお客さまを支援するため、「災害復旧支援ローン」の取扱いおよび住宅ローンの金利等の優遇の取扱いを開始しています。

■ その他の取組み

- ◆ 被災者支援や被災地の復興に役立てていただくための義援金として、当行グループより日田市へ500万円、津久見市へ500万円、佐伯市へ200万円を寄付しました。
- ◆ 当行の行員有志による募金活動やボランティアの参加などを実施しています。

Oita Made 



地域商社「Oita Made(株)」設立

「大分らしさ」を伝えるお手伝い

今年8月、大分県内の優れた素材を商品化し国内外に販売することを目的とした地域商社「Oita Made(株)」の設立を支援しました。

昨年の6月に、地方創生を行う専門部署「地域創造部」を新設し、地方創生の具体策に取り組んできました。その新たなプロジェクトとして、地域商社「Oita Made(株)」の設立を支援いたしました。

「Oita Made」ブランドは、もともとNPO法人BEPPU PROJECTが展開していたのですが、そのデザイン性やブランドの趣旨に共感する点も多く、ぜひ当行が関与し

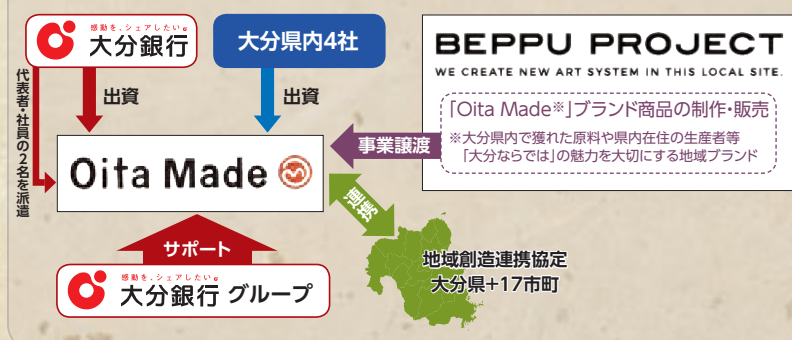
て県産品の販売を促進したいという思いから、「Oita Made(株)」がOita Made事業の譲渡を受けました。

これまでNPO法人BEPPU PROJECTが行っていた「Oita Made」ブランドは、手作りの商品や小ロットの商品を対象としていました。そのコンセプトは残しながら、手作りに限定せず、生産体制が整っている商品でも「大分らしさ」



が備わっているものがあれば、間口を広げて商品ラインナップに加えていこうと考えています。地域経済の活性化は、大分銀行の収益にもプラスの効果を生み出します。今後も当行は地域商社「Oita Made(株)」の支援を行ってまいります。

設立支援図



会社概要

企業名	Oita Made 株式会社
ロゴマーク	Oita Made 
所在地	大分県大分市府内町二丁目2番1号 赤レンガ館 電話:097-513-2828 FAX:097-533-2828 http://oitamade.jp
設立日	平成29年8月1日(火)
事業内容	地域ブランド商品の企画開発・販売業務、マーケティング等各種調査業務、ランドオペレーター業務、不動産活用等によるまちづくり業務、新たなビジネス創造の支援業務等



感動を、シェアしたい。
大分銀行

編集発行／平成29年12月 株式会社 大分銀行 総合企画部広報グループ
〒870-0021 大分市府内町3丁目4番1号 TEL. 097-534-1111
ホームページアドレス <https://www.oitabank.co.jp/>